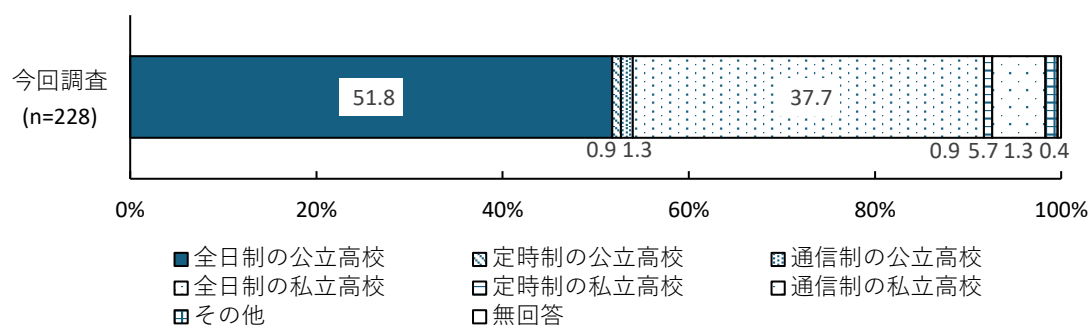


3-2. 子どもの生活実態調査分析結果(高校2年生相当年齢の児童)

(1) 回答者の属性について

- ① 回答者は、全日制に通っている高校生が 89.5%、定時制が 1.8%、通信制が 7.0%であった。【問3】

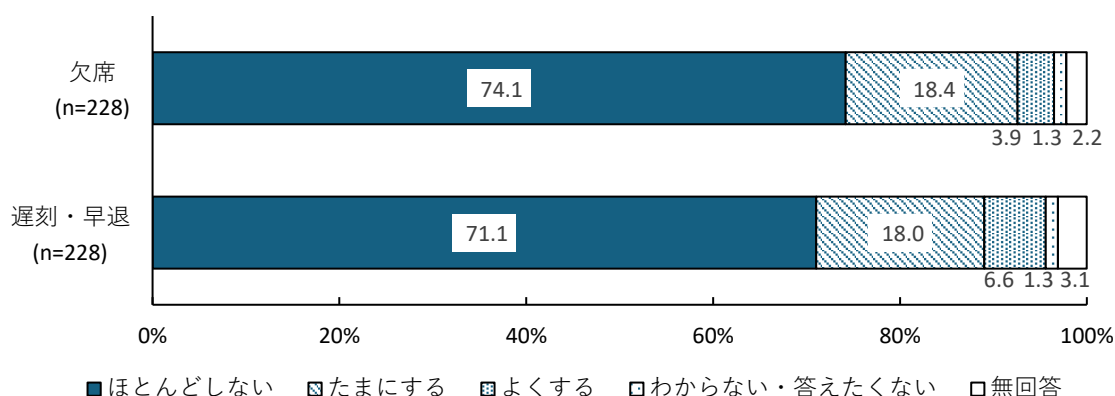
図表 通学している高等学校等について(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】



(2) 学校生活について

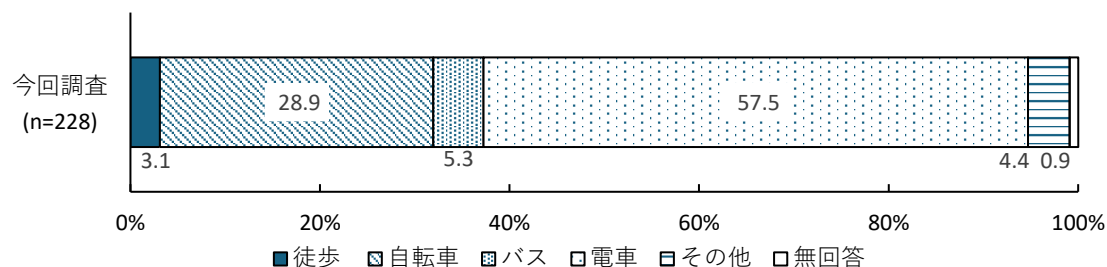
- ① 欠席及び遅刻等の状況については、「ほとんど欠席しない」が 74.1%いる一方で、「よく欠席する」は 3.9%の回答があった。また、「ほとんど遅刻・早退しない」が 71.1%いる一方で、「よく遅刻・早退する」は 6.6%の回答があった。【問4】

図表 欠席や遅刻・早退の状況(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】



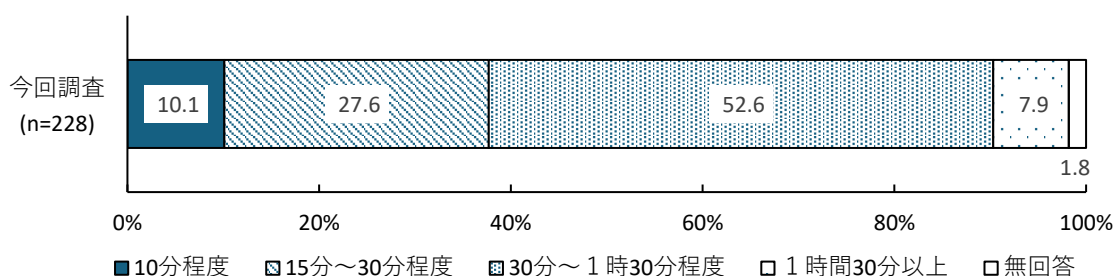
- ② 通学方法は、「電車」が 57.5%と最も多く、次いで「自転車」が 28.9%、「バス」が 5.3%となっている。【問5(1)】

図表 通学方法(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】



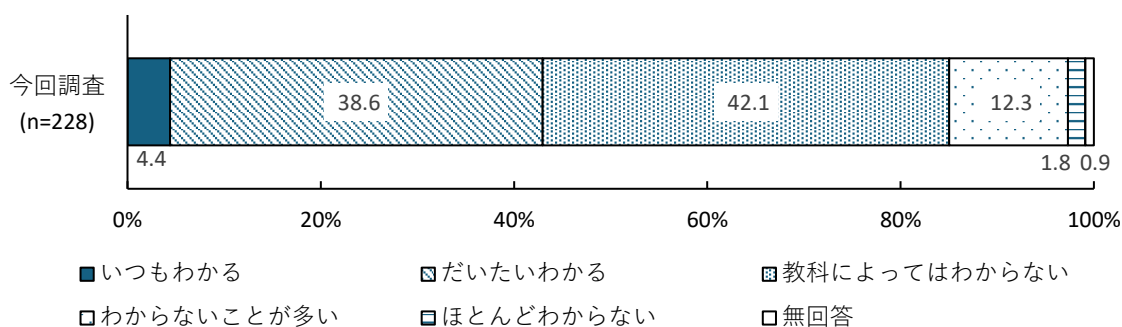
- ③ 通学時間は、「30 分から 1 時間 30 分程度」が 52.6%と最も多く、次いで「15分～30 分程度」が 27.6%、「10 分程度」が 10.1%となっている。【問5(2)】

図表 通学時間(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】

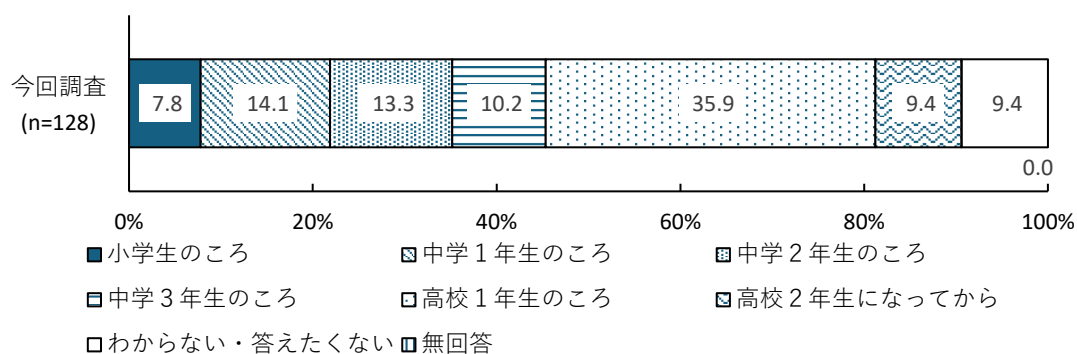


- ④ 学校の勉強がわからないことがあるかについては、「教科によってはわからない」、「わからないことが多い」及び「ほとんどわからない」を合わせた割合が 56.2%であった。学校の勉強がわからなくなった時期は、「高校1年生のころ」が 35.9%と最も多かった。【問6,7】

図表 学校の勉強の理解状況(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】

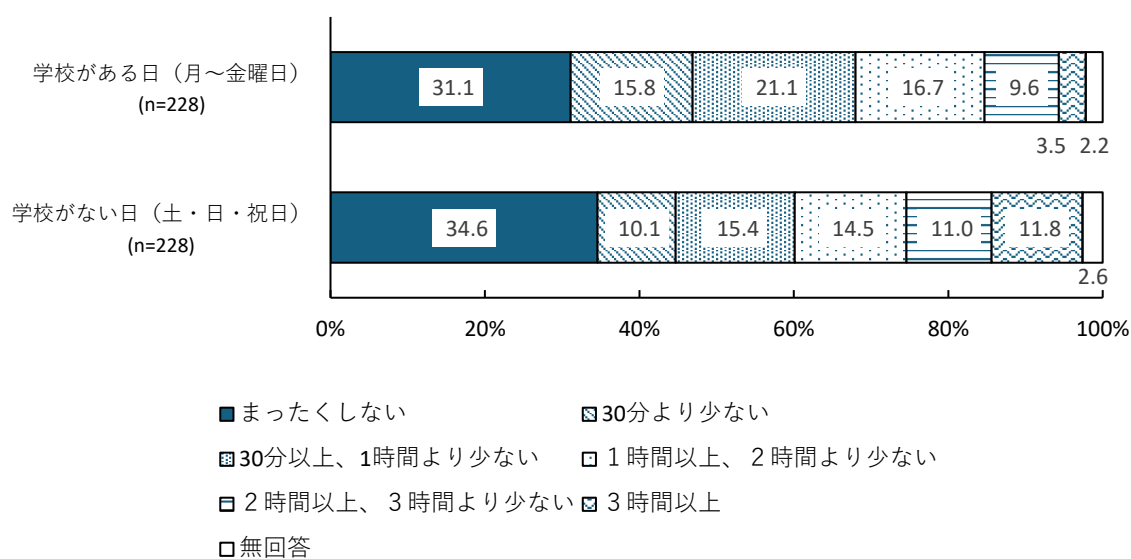


図表 学校の勉強がわからなくなった時期(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】



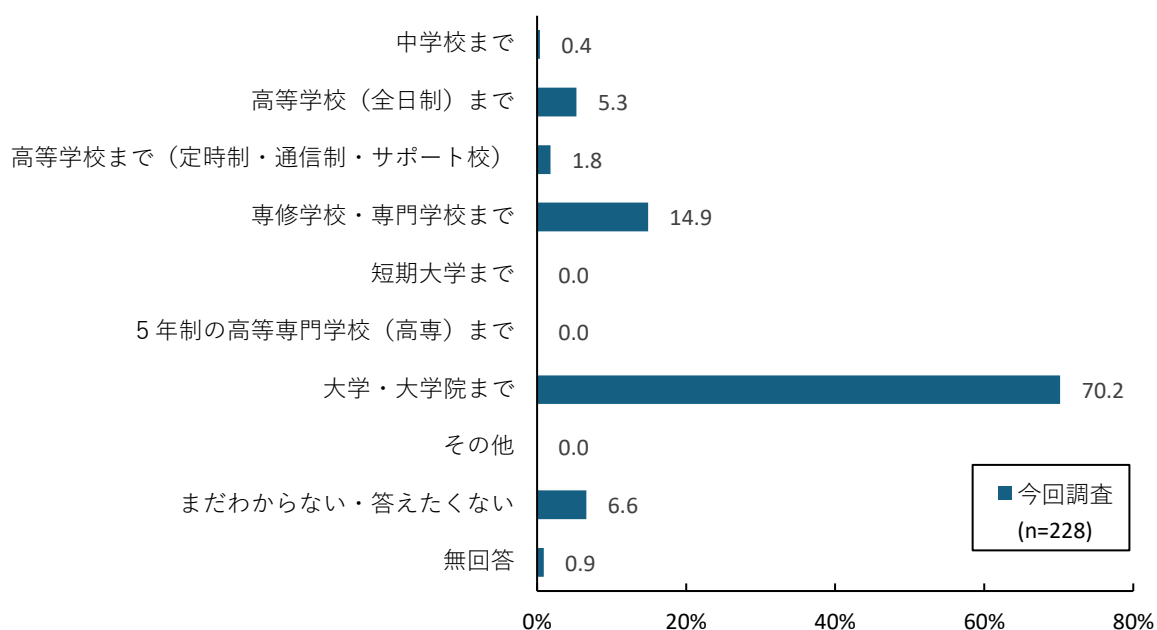
- ⑤ 学校がある日(月～金曜日)と学校がない日(土・日・祝日)の勉強時間は、いずれも「まったくしない」が最も多く、次いで「30分以上、1時間より少ない」となっている。
【問9】

図表 勉強時間(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】

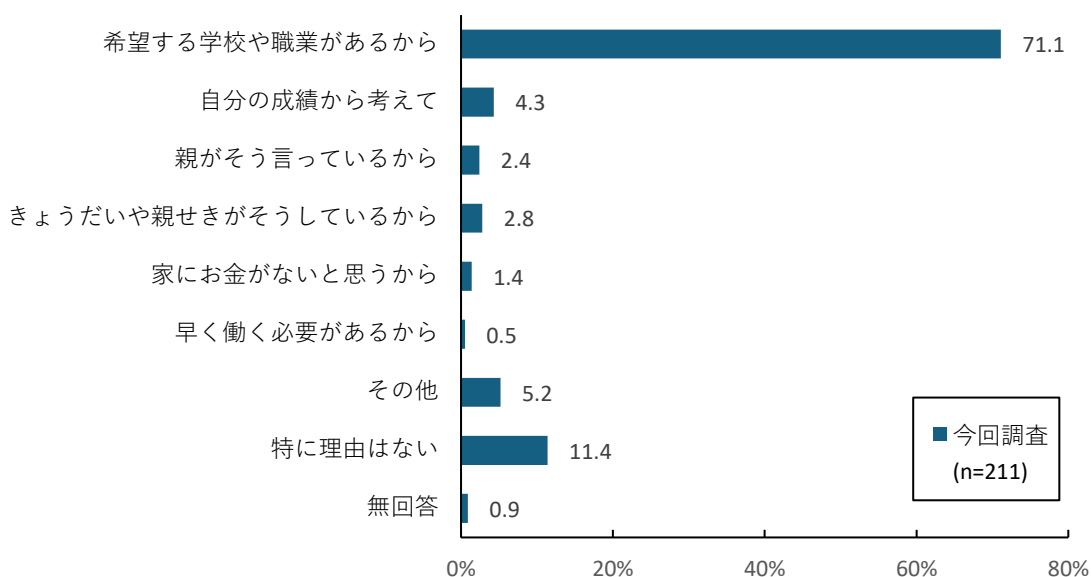


- ⑥ 将来の進学希望については、「大学・大学院まで」が70.2%と最も多く、次いで「専修学校・専門学校まで」が14.9%、「高等学校(全日制)まで」が5.3%となっている。その理由については、「希望する学校や職業があるから」が71.1%と最も多く、次いで「特に理由はない」が11.4%、「自分の成績から考えて」が4.3%となっている。
【問10,11】

図表 進学の希望(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】



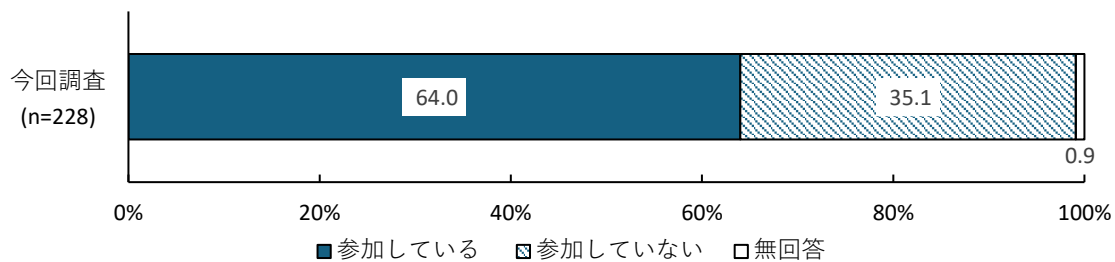
図表 進学の希望の理由(高校2年生相当年齢の児童)【複数回答】



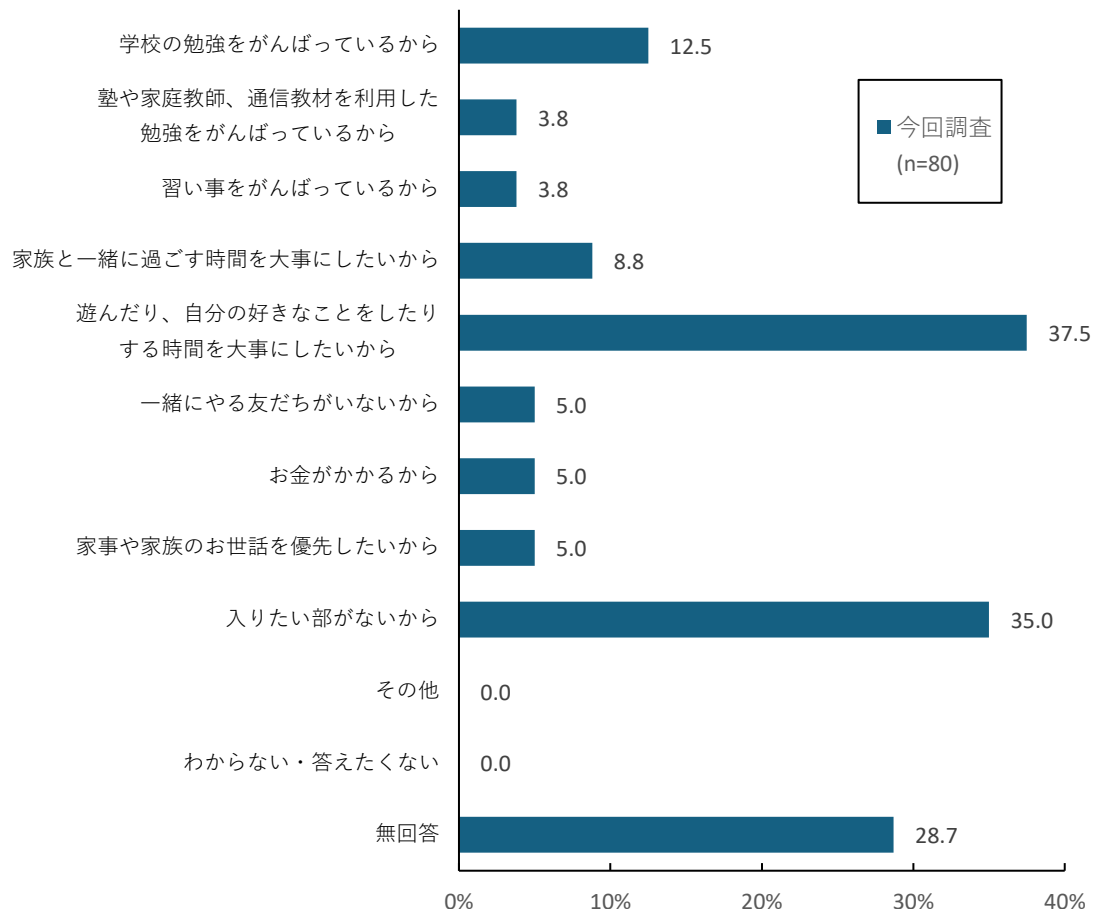
(3)放課後・休日の過ごし方について

- ① 学校の部活動(クラブ活動)の参加状況は、参加している人は 64.0%、参加していない人は 35.1%であった。参加していない理由については、「遊んだり、自分の好きなことをしたりする時間を大事にしたいから」が 37.5%と最も多く、次いで「入りたい部がないから」が 35.0%、「学校の勉強をがんばっているから」が 12.5%となっている。【問14】

図表 学校の部活動(クラブ活動)の参加状況(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】

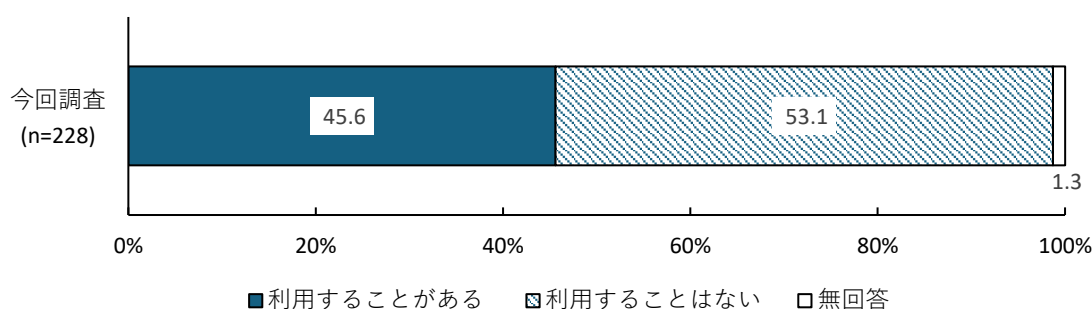


図表 学校の部活動(クラブ活動)に参加していない理由
(高校2年生相当年齢の児童)【複数回答】

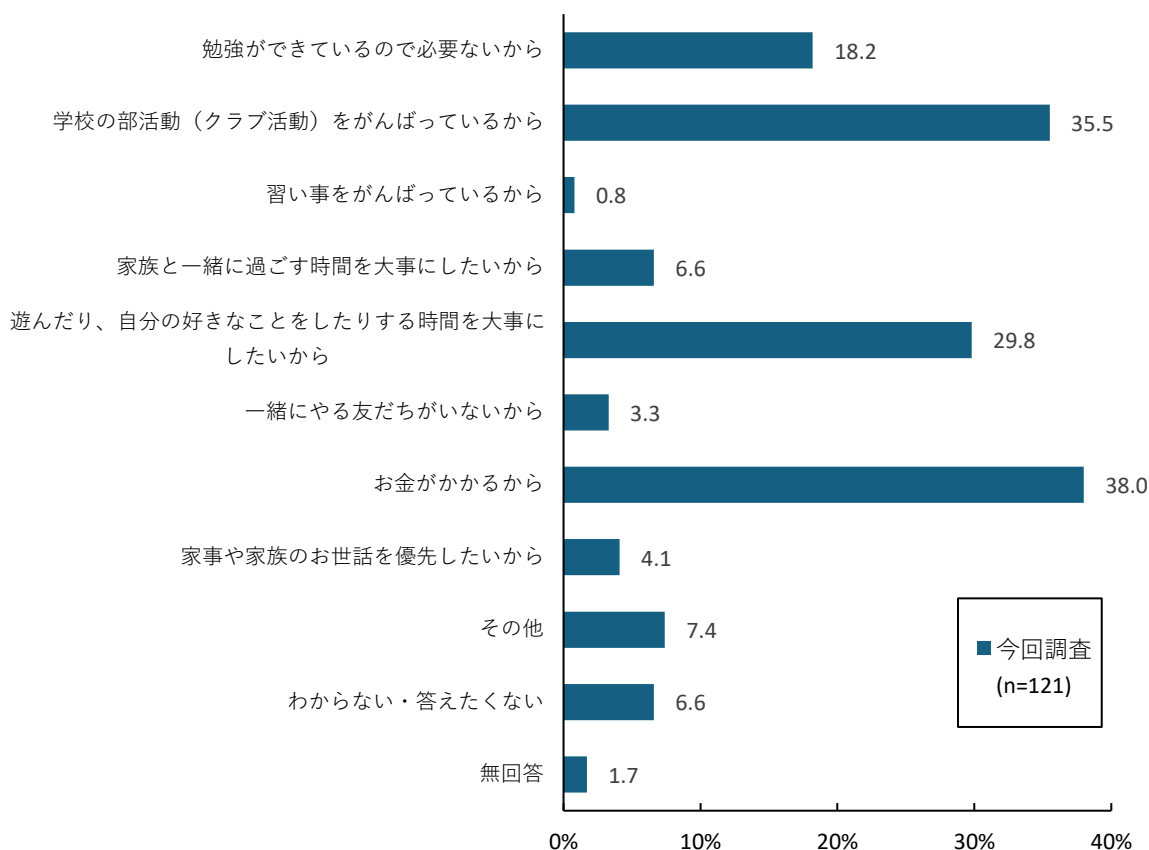


- ② 塾や家庭教師、通信教材の利用状況は、「利用することがある」が 45.6%、「利用することはない」が 53.1%であった。利用しない理由については、「お金がかかるから」が 38.0%、「学校の部活動(クラブ活動)をがんばっているから」が 35.5%、「遊んだり、自分の好きなことをしたりする時間を大事にしたいから」が 29.8%となっている。【問12】

図表 塾や家庭教師、通信教材の利用状況(高校2年生相当年生の児童)【単数回答】

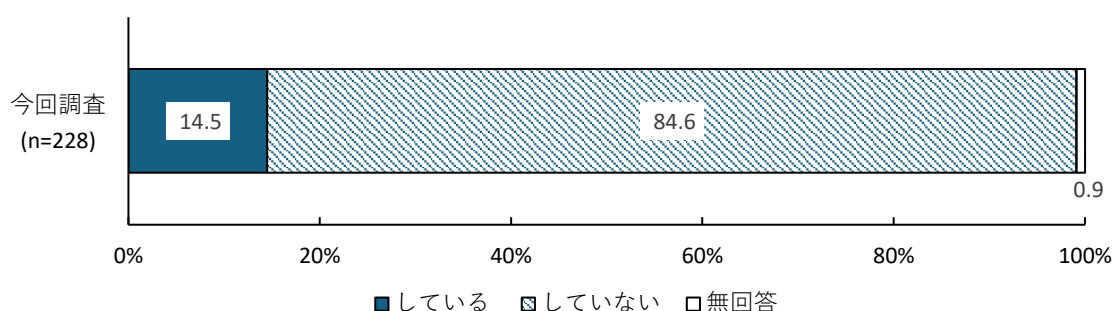


図表 塾や家庭教師、通信教材を利用していない理由
(高校2年生相当年生の児童)【複数回答】

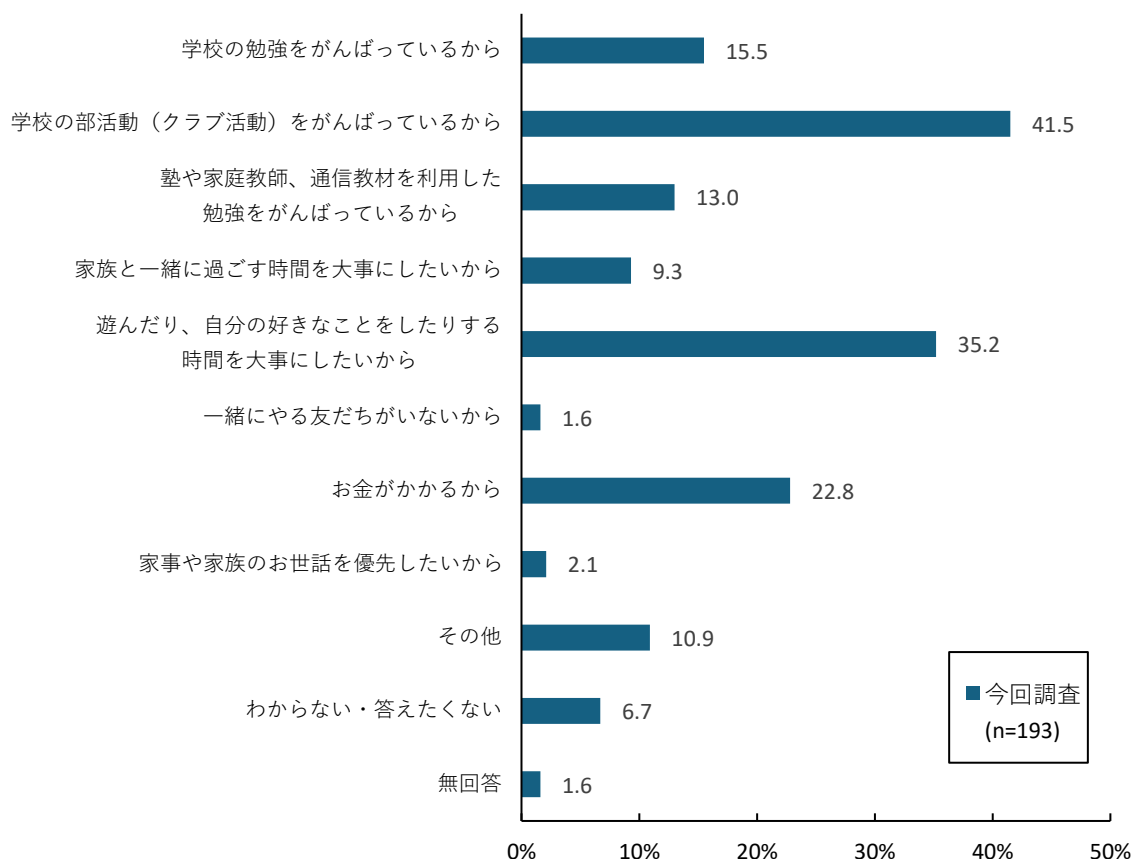


- ③ 習字やそろばん、ピアノ、スポーツなどの習いごとの参加状況は、「習いごとをしている」が14.5%、「習いごとをしていない」が84.6%であった。習いごとをしていない理由については、「学校の部活動(クラブ活動)をがんばっているから」が41.5%、「遊んだり、自分の好きなことをしたりする時間を大事にしたいから」が35.2%、「お金がかかるから」が22.8%となっている。【問13】

図表 習いごとの参加状況(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】

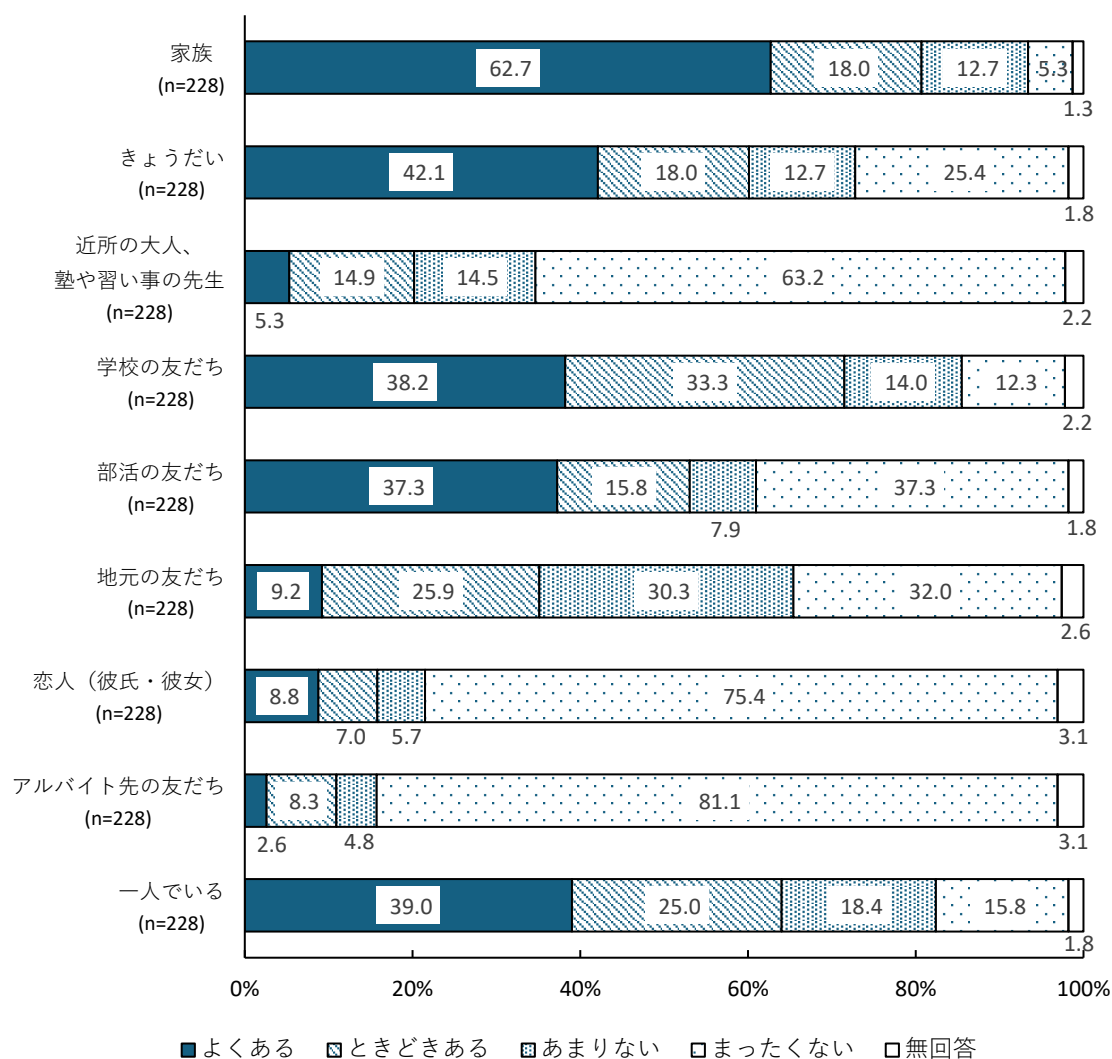


図表 習いごとに参加していない理由(高校2年生相当年齢の児童)【複数回答】

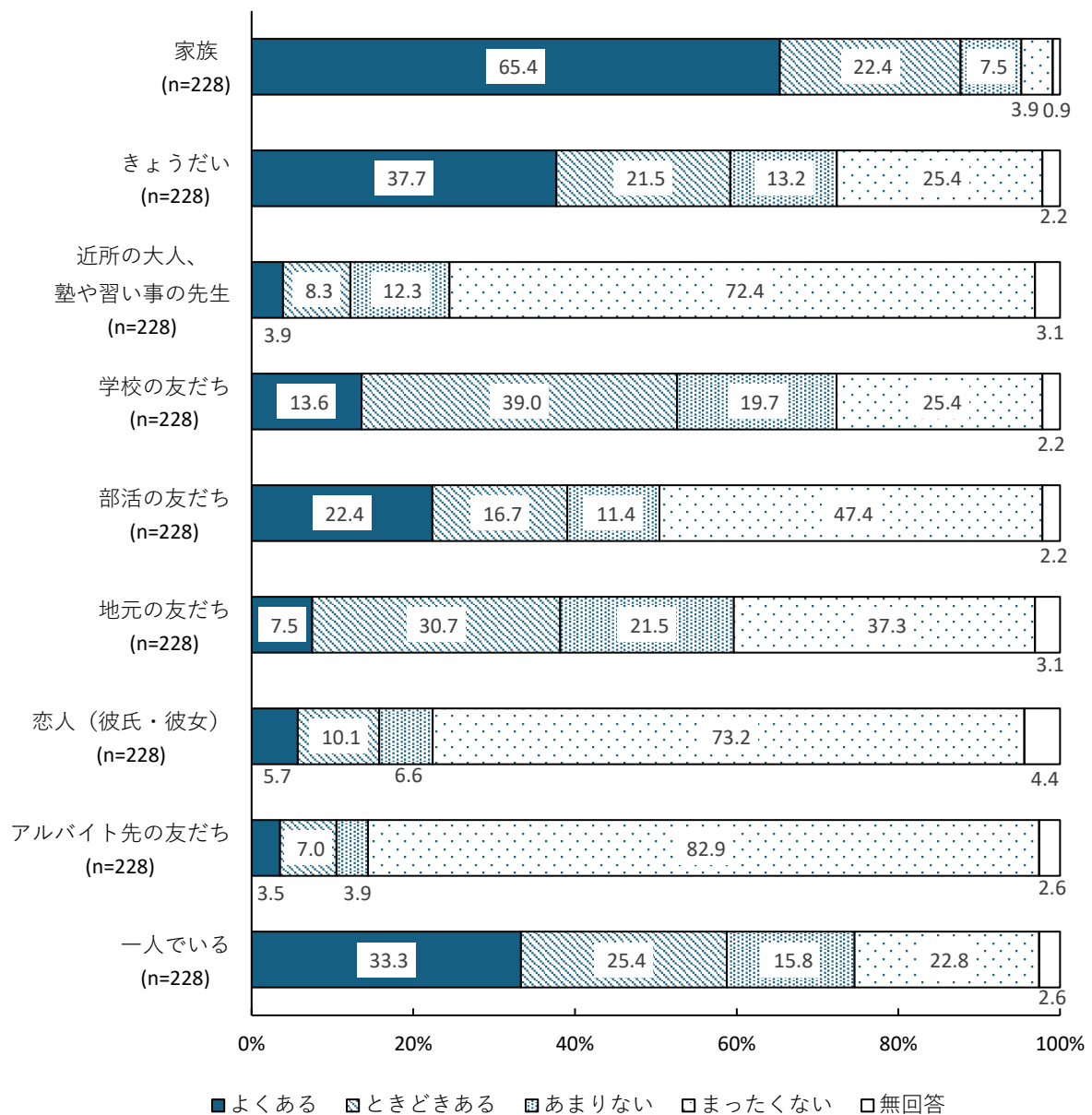


- ④ 放課後や休日に一緒に過ごす人については、放課後・休日ともに「家族(きょうだい以外)」「きょうだい」「学校の友だち」「一人でのいる」の回答が多く、一緒に過ごすことが「よくある」と「ときどきある」を合わせて 50%を超えていた。平日は、「部活の友だち」も含まれていた。【問 15,18】

図表 放課後に一緒に過ごす人(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】

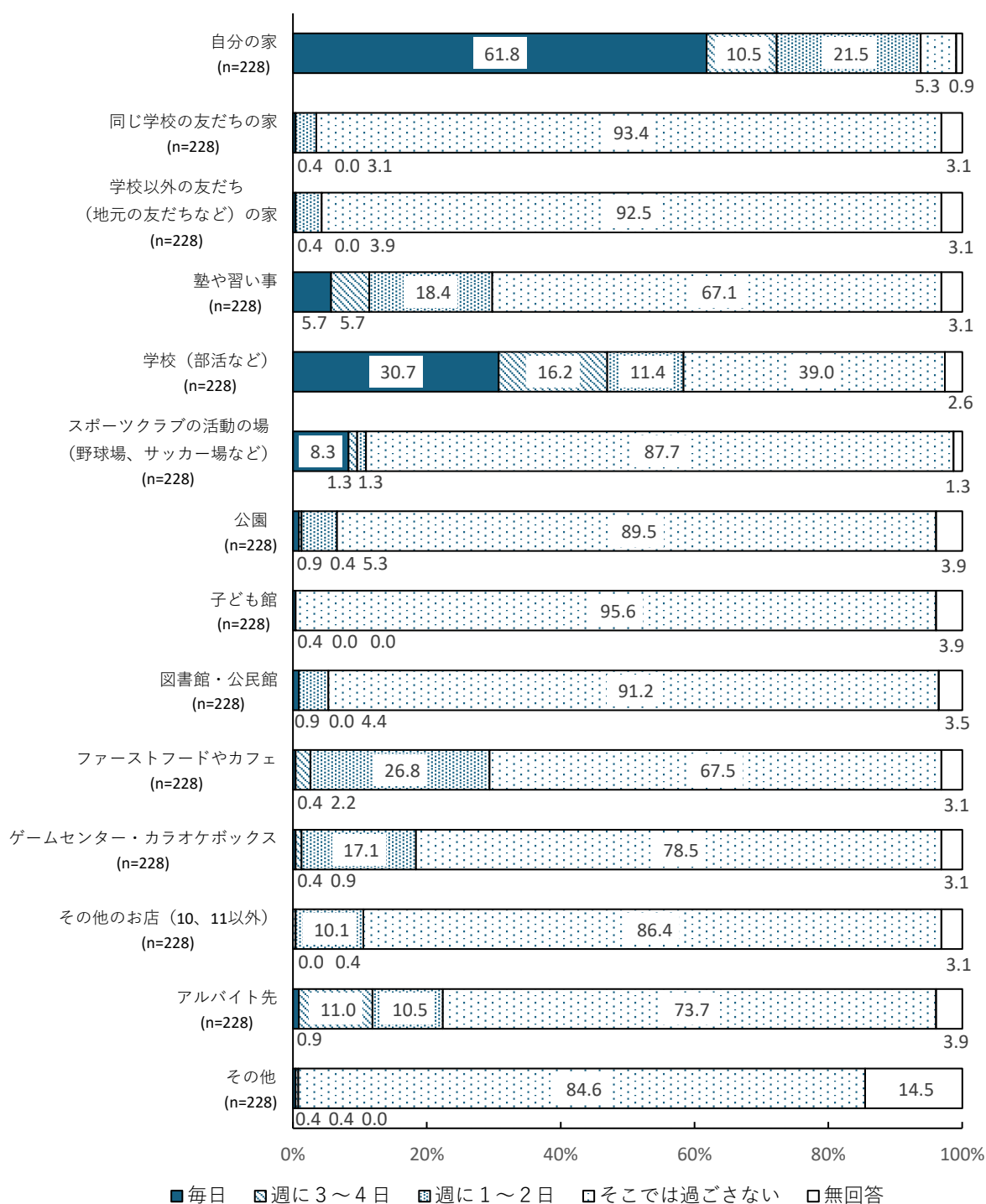


図表 休日に一緒に過ごす人(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】



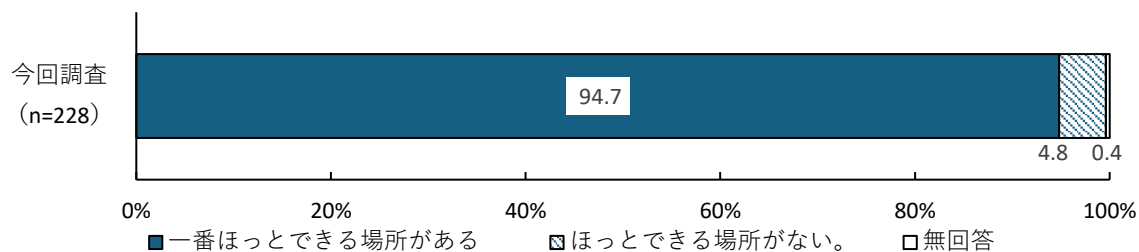
- ⑤ 平日の放課後、「毎日」もしくは「週に3～4日」過ごすことが多い場所は、「自分の家」(72.3%)、「学校(部活など)」(46.9%)、「塾や習い事」(11.4%)であった。「週に1～2日」過ごすことが多い場所は、「自分の家」(21.5%)が最も多く、それ以外では、「ファーストフードやカフェ」(26.8%)、「塾や習い事」(18.4%)、「ゲームセンター・カラオケボックス」(17.1%)となっている。【問16】

図表 放課後に過ごす場所(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】

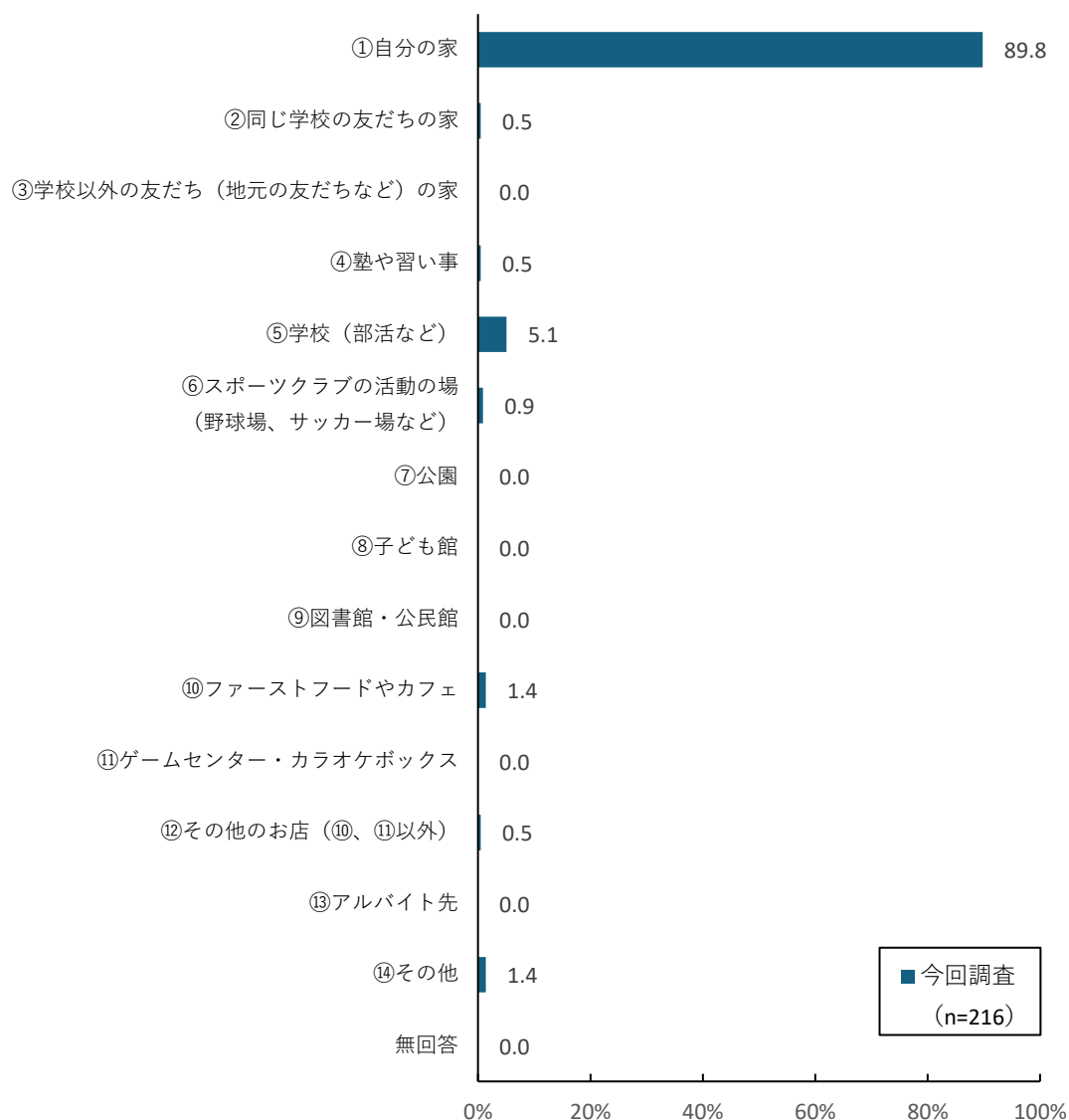


- ⑥ 「ほっとできる場所」がある人の割合は 94.7%で、「一番ほっとできる場所」については「自分の家」が 89.8%を占めていた。【問17】

図表 ほっとできる場所の有無(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】

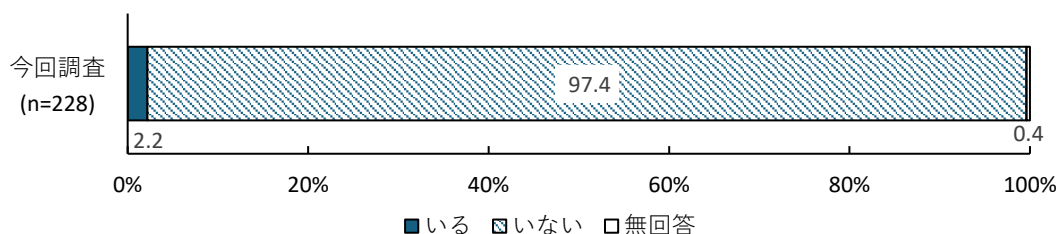


図表 一番ほっとできる場所(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】

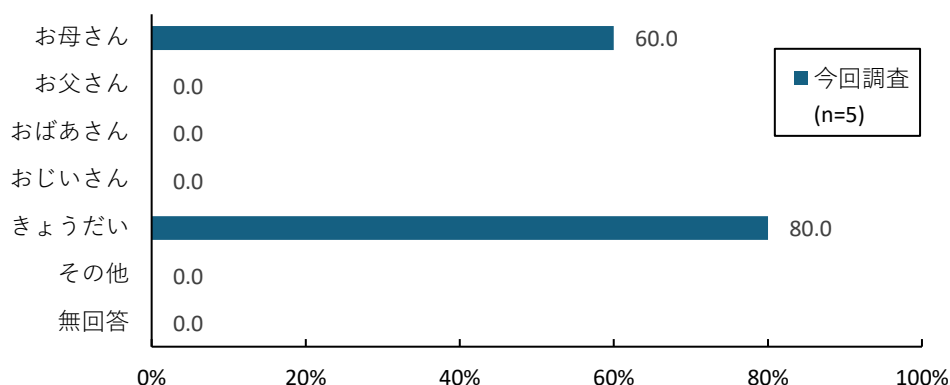


- ⑦ 自分が中心となってお世話をしている家族の有無については、「いる」との回答が2.2%であった。お世話をしている相手としては「きょうだい」と「母」の回答があり、主な理由は「親が仕事で忙しい」(80.0%)であった。【問27,28,29】

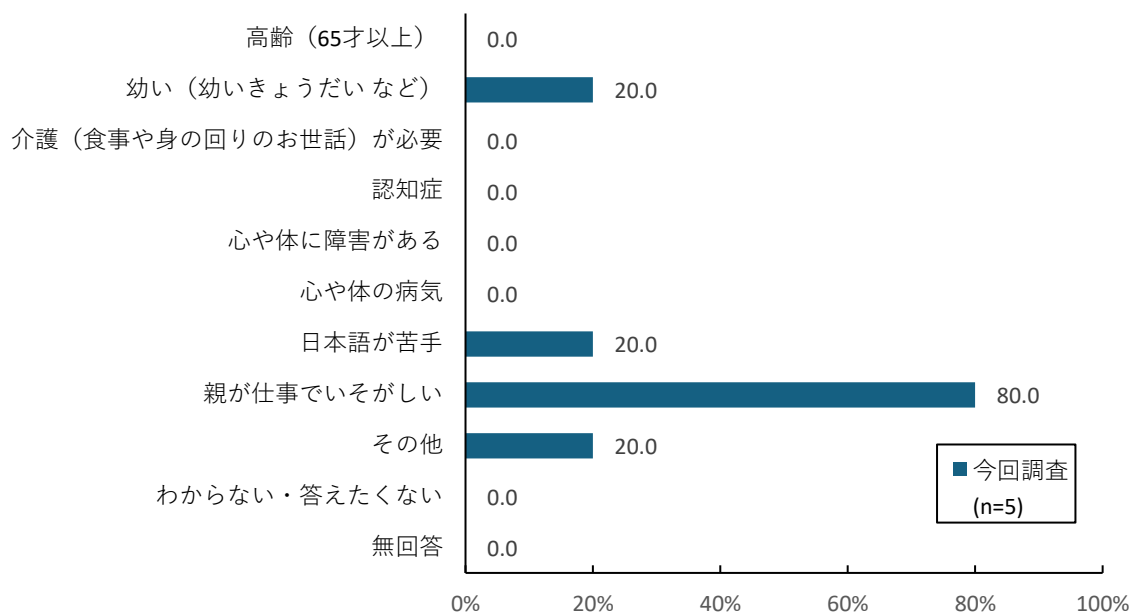
図表 自分が中心となってお世話をしている人の有無
(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】



図表 お世話をしている相手(高校2年生相当年齢の児童)【複数回答】



図表 お世話をしている理由(高校2年生相当年齢の児童)【複数回答】

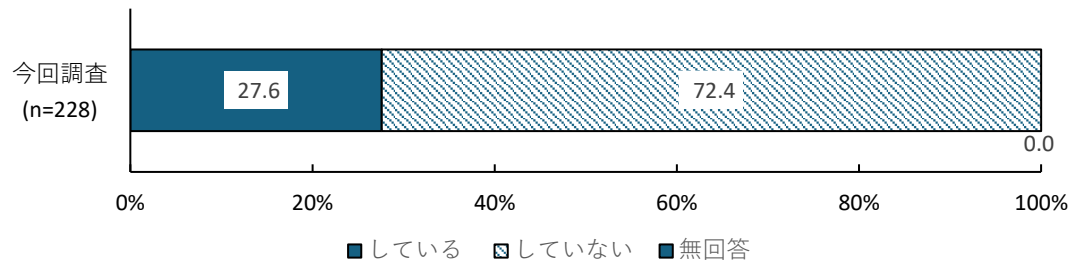


(4)アルバイトについて

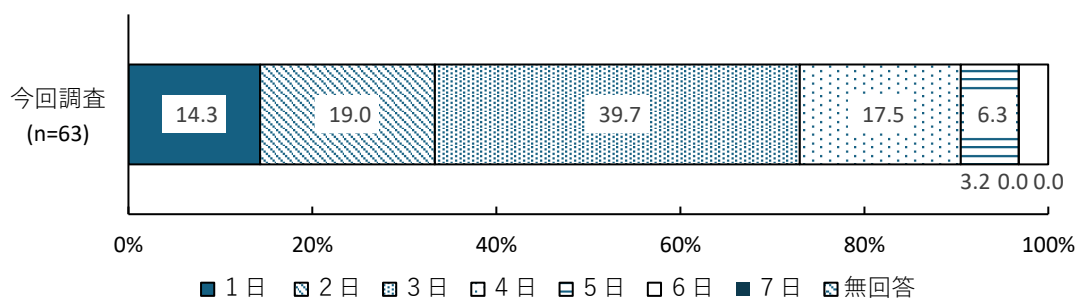
- ① 現在アルバイトをしている人の割合については 27.6%であった。1週間の勤務日数は「3日」、1日あたりの平均勤務時間は「3～4時間未満」が最も高かった。

【問19,20】

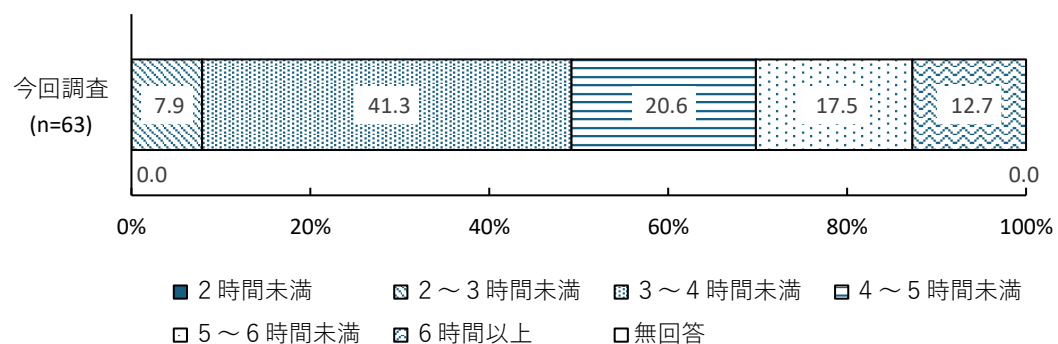
図表 アルバイトの就業状況(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】



図表 1 週間の勤務日数(高校 2 年生相当年齢の児童)【単数回答】

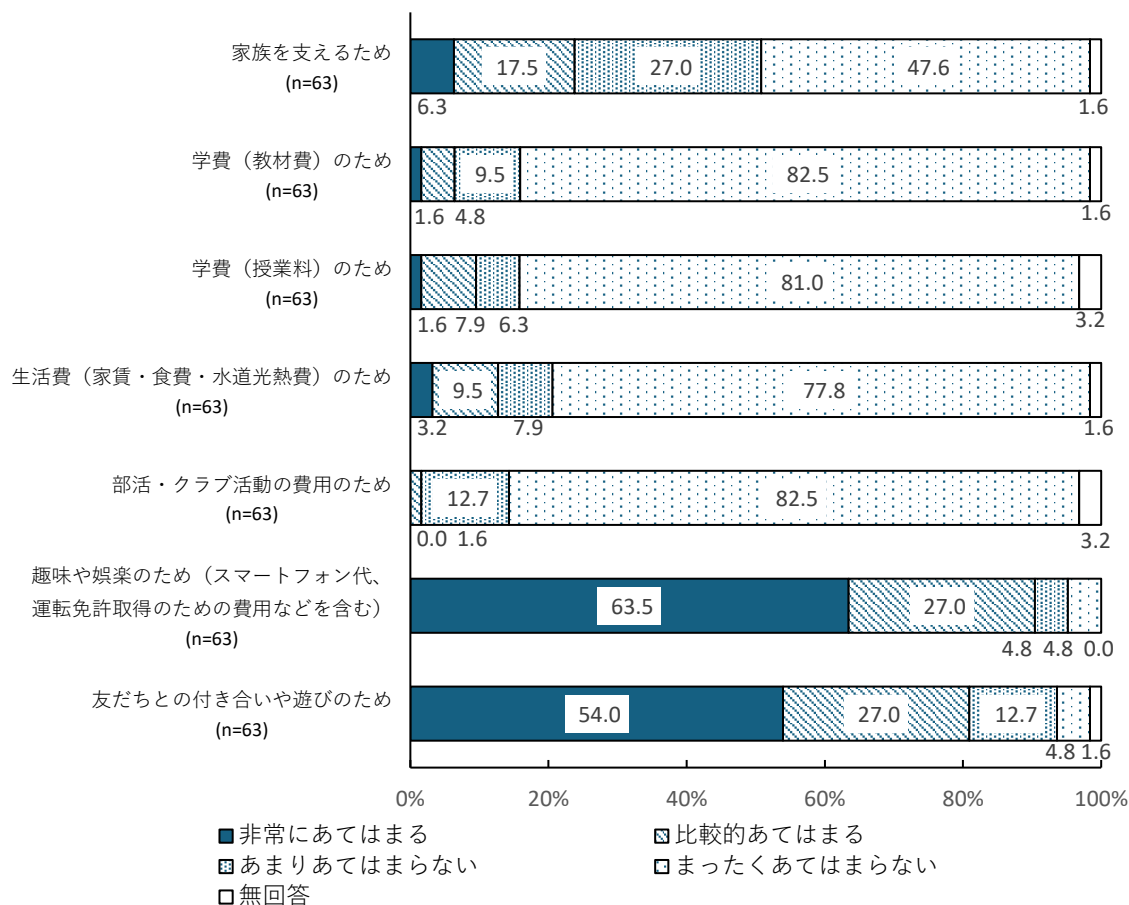


図表 1日の平均勤務時間(高校 2 年生相当年齢の児童)【単数回答】



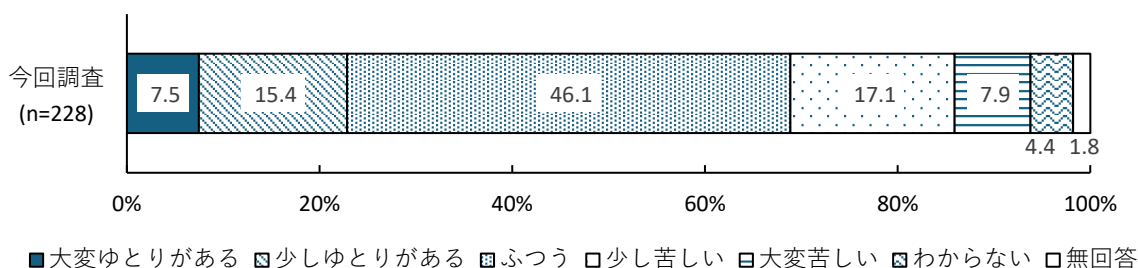
- ② アルバイトをしている理由として「非常にあてはまる」と「比較的あてはまる」を合わせた割合は、「趣味や娯楽のため」が 90.5%、「友だちとの付き合いや遊びのため」が 81.0%と多かった。一方で、「家族を支えるため」では 23.8%、「生活費のため」では 12.7%の回答があった。【問22】

図表 アルバイトをしている理由(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】



- ③ 家の暮らしに対して経済的にどう感じているかについては、「ふつう」が 46.1%と最も多かった。また、「大変ゆとりがある」と「少しゆとりがある」を合わせた割合が 22.9 %である一方、「少し苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合は 25.0%となった。【問23】

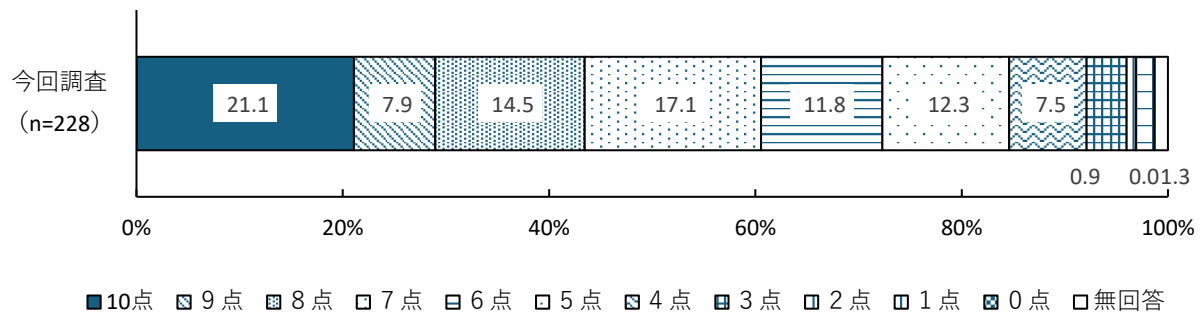
図表 暮らし向き(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】



(5) 幸福感・困ったとき等について

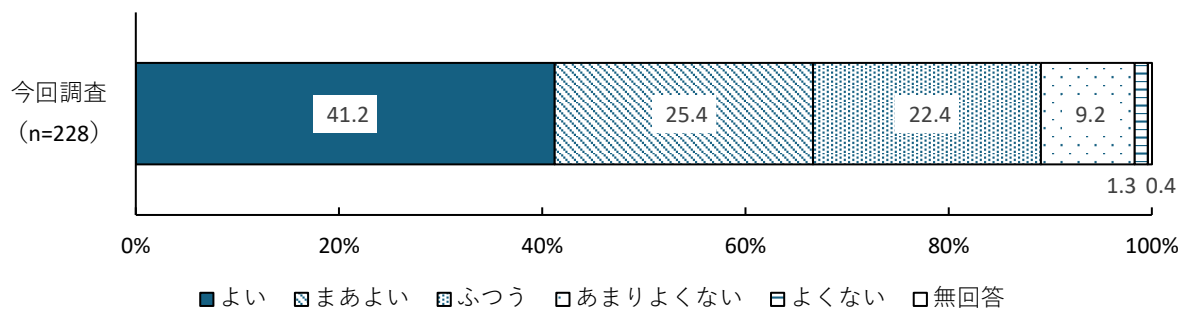
- ① 現在の生活の満足度については、「10点」が21.1%と最も多く、次いで「7点」が17.1%、「8点」が14.5%となった。「6点」以上を回答した割合は、72.4%となっている。【問37】

図表 現在の生活の満足度(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】



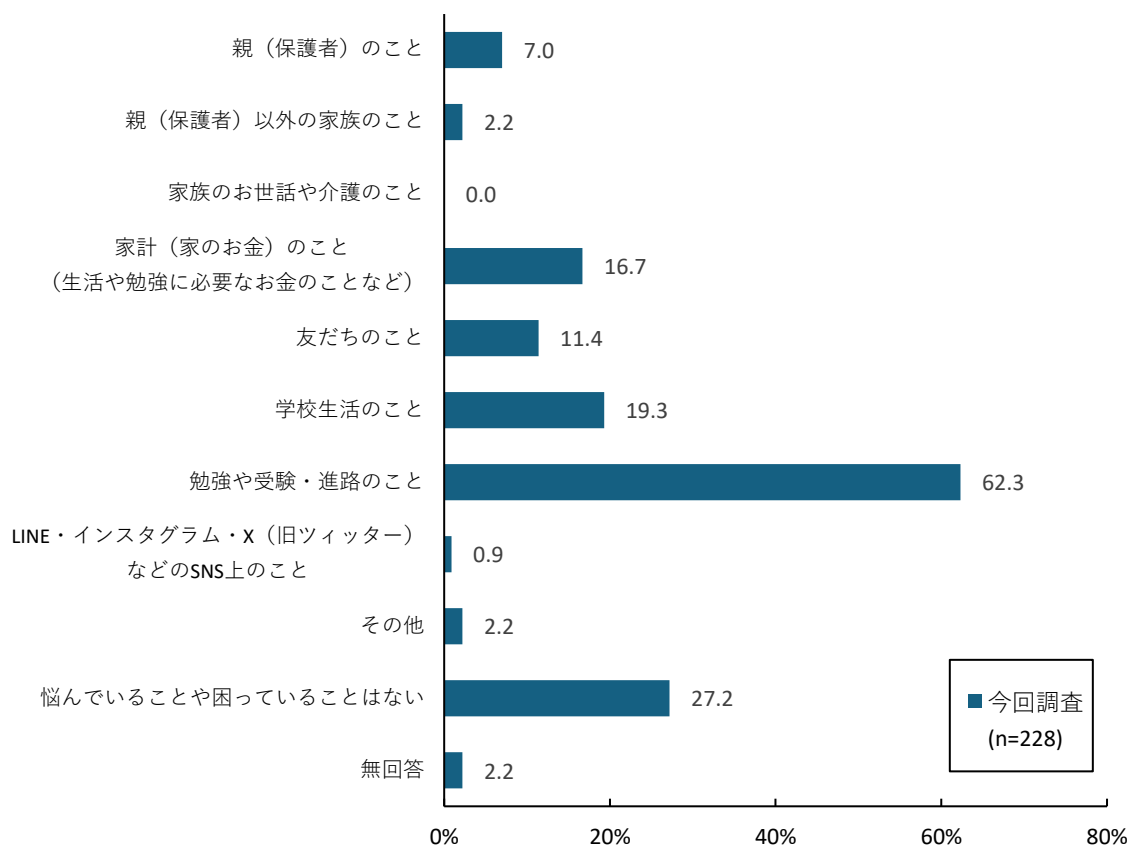
- ② 健康状態については、「よい」と「まあよい」を合わせた割合が66.6%、「ふつう」が22.4%となっている。その一方で、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた割合が10.5%となっている。【問38】

図表 現在の健康状態(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】



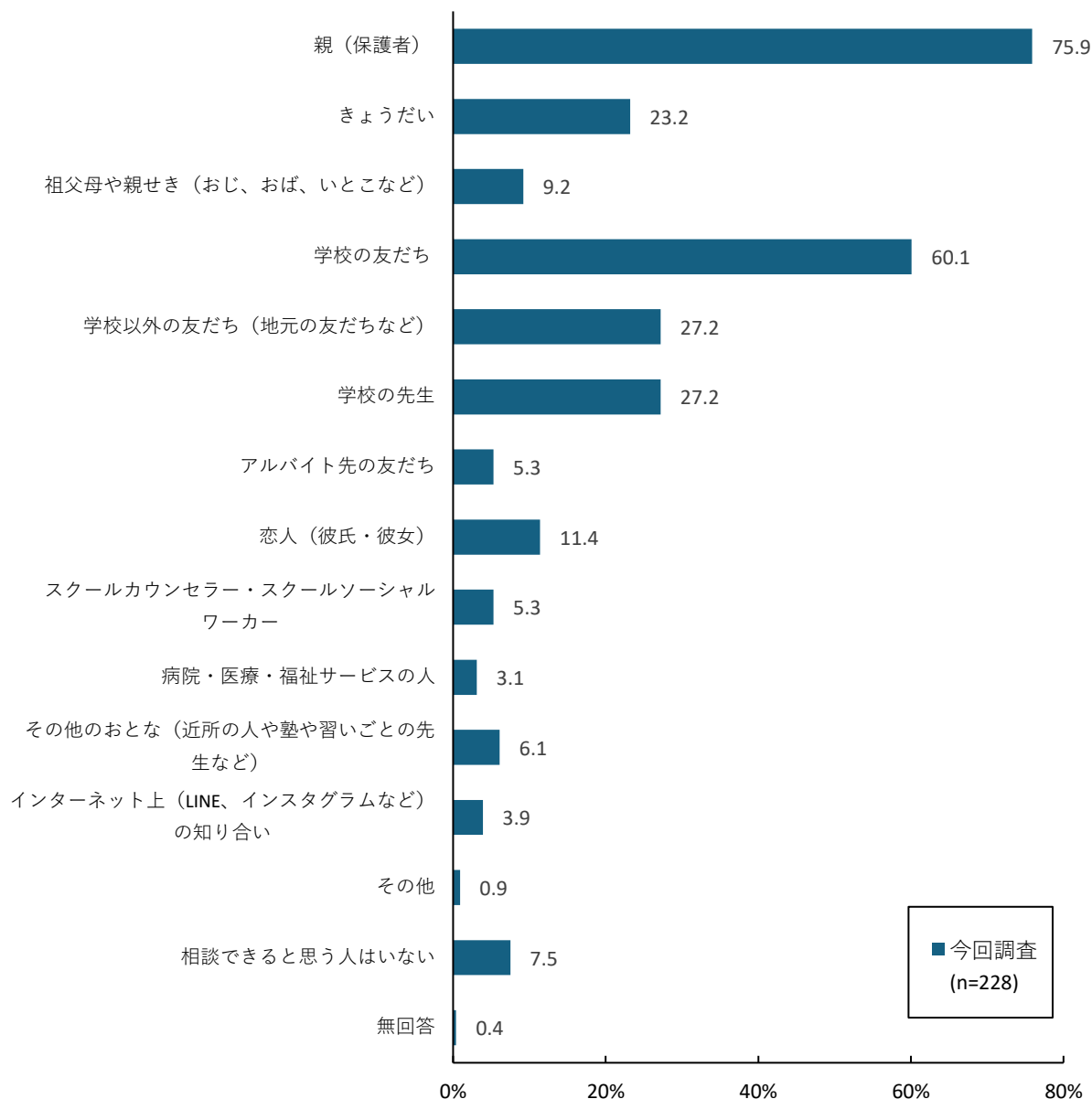
- ③ 悩みごとや困りごとの有無については、「ある」と回答した人が70.6%であった。困っていることの内容は、「勉強や受験・進路のこと」が62.3%で最も多く、次いで「学校生活のこと」が19.3%、「家計(家のお金)のこと(生活や勉強に必要なお金のことなど)」が16.7%となっている。【問40】

図表 悩みごとや困りごと(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】



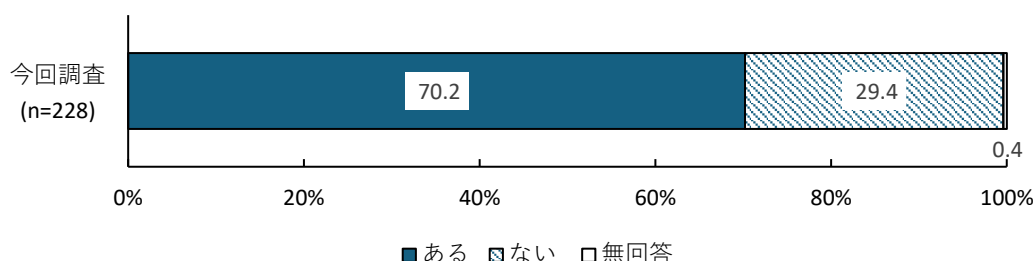
- ④ 悩んだ時や困った時の相談相手については、「親(保護者)」が 75.9%と最も多く、次いで「学校の友だち」が 60.1%、「学校以外の友だち」と「学校の先生」がそれぞれ 27.2%と続いている。一方で、「相談できると思う人はいない」と回答した人が 7.5%となった。【問41】

図表 悩んだ時や困った時の相談相手(高校2年生相当年齢の児童)【複数回答】

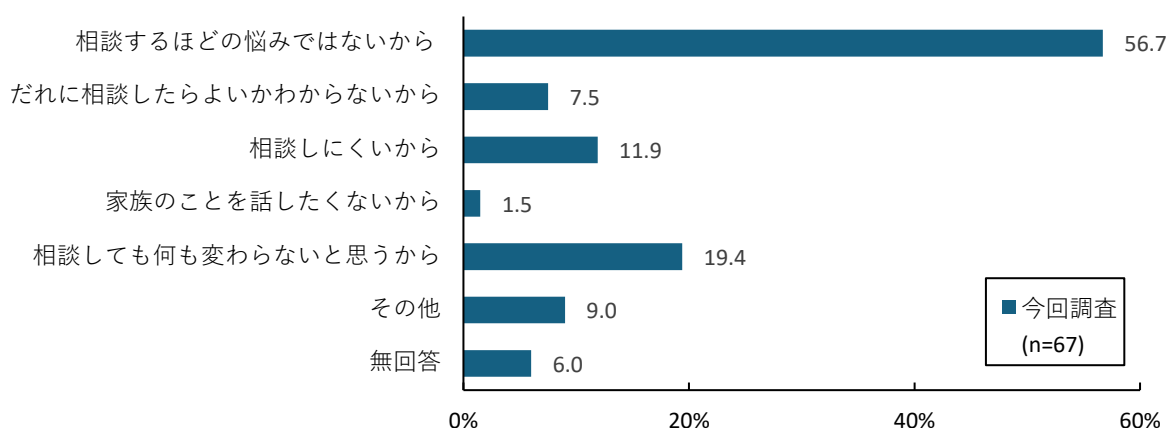


- ⑤ 「困ったときに悩みを相談したことがあるか」については、「ある」が 70.2%、「ない」が 29.4%であった。相談しない理由については、「相談するほどの悩みではないから」が 56.7%、「相談しても何も変わらないと思うから」が 19.4%となっている。【問42,43】

図表 困った時や悩んだ時の相談相手への相談の有無
(高校 2 年生相当年齢の児童)【単数回答】

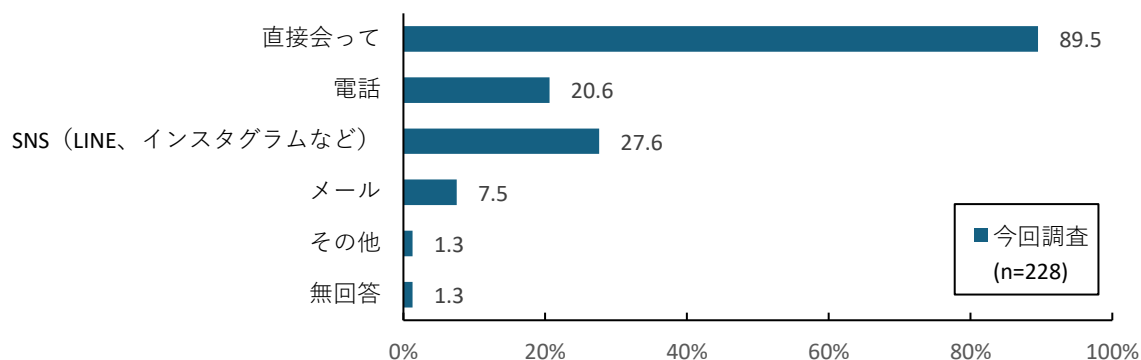


図表 相談をしていない理由(高校2年生相当年齢の児童)【複数回答】



- ⑥ 大人への相談方法として希望する方法は、「直接会って」が 89.5%と最も高く、「SNS」が 27.6%、「電話」が 20.6%と続いている。【問 44】

図表 大人に相談する際の希望する相談方法(高校 2 年生相当年齢の児童)【複数回答】



(6)こどもの権利について

- ① 「こどもの権利」について知っている割合は、「よく知っている」が 11.4%、「少し知っている」が 30.7%、「聞いたことはある」が 33.3%、「知らない」が 24.6%となっている。【問47】

図表 こどもの権利の認知度(高校2年生相当年齢の児童)【単数回答】

